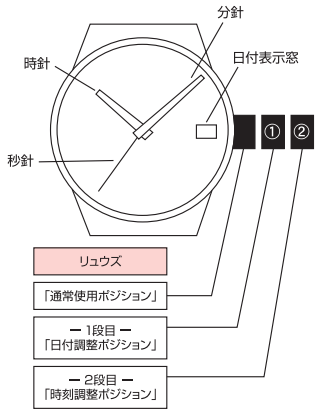


ソーラーチャージウォッチシリーズ



■商品の特微
この時計は、文字板にソーラーセルを配し、光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計を駆動させるアナログパワーウォッチです。

■ご使用になる前に…
十分に光を当てて充電してからご使用ください。この時計には、電気エネルギーを蓄えるために2次電池が使われています。この2次電池は、水銀などの有害物質が一切使われていないクリーンエネルギー電池です。フル充電より約6ヶ月間動き続けます。

この時計には、過充電防止機能がついており、充電しすぎる心配はありません。快適にご使用いただくためには、常に余裕をもって充電することを心掛けてください。

⚠️ 注意
R305-R306-R307-R503シリーズ以外は、日付表示ができませんので、リュウズの1段目が「時刻調整ポジション」になります。

時刻調整方法

- 1.リュウズを秒針が12時位置にきた時、1段(R305-R306-R307-R503シリーズは2段)引き、「時刻調整ポジション」にしてください。秒針が停止します。
- 2.リュウズを回して、時間を合わせてください。
- 3.リュウズを時鐘と同時に押し込み、「通常使用ポジション」に戻して完了です。

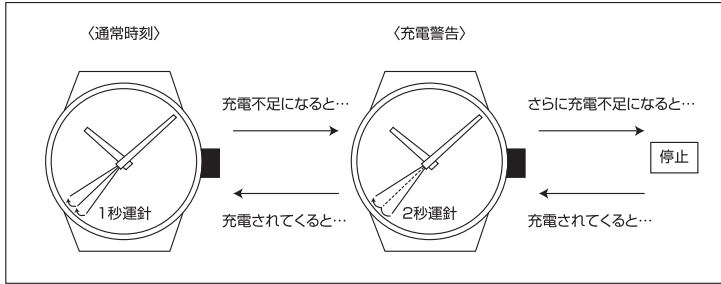
日付調整方法 (R305-R306-R307-R503シリーズ)

- 1.リュウズを1段引き、「日付調整ポジション」にしてください。
- 2.リュウズを回して、日付を合わせてください。
- 3.リュウズを元の「通常使用ポジション」に戻して完了です。

⚠️ 注意
日付調整をする場合、PM8:00～AM4:00の時間帯は避けてください。万一、操作を行いますと、日付が正しく切り替わらなかったり、ムーブメントに不具合が生じることがありますので、ご注意ください。もし、この時間帯に修正を行う場合は、上記時間外に針を動かしてから日付を合わせてください。

ソーラーチャージウォッチ特有の機能について

充電不足になると、以下のような警告機能が働いて、表示が切り替わります。



●充電警告機能
電池電圧が低下すると、秒針が2秒づつ動き(2秒運針)充電不足をお知らせします。2秒運針より約4日(R305シリーズは約1日)経過すると、時計は停止します。光を当てて充電を行なってください。十分に充電がされると運針は元に戻ります。

ソーラーチャージウォッチの上手な使い方

時計をご使用にならないときは、文字板を光に当てて充電を行なってください。長袖を着用していると、光が文字板に当たらないため、充電不足になることがあります。引き出しの中などの暗い場所での長期間充電できない状態が続くと、電気を完全に放電してしまい充電できなくなることがあります。その場合は、販売店または弊社サービスセンターへご相談ください。

⚠️ 注意
<充電上の注意>
充電の際、時計が高温(約60℃以上)にならないようご注意ください。
(例)炎天下の車内のダッシュボード、白熱灯の直下、長時間の直射日光下など。



ソーラーチャージウォッチ充電時間の目安

シリーズモデルによって、充電時間が異なります。目安として、下記の表をご参照ください。

<R0xxシリーズの場合>

照度 (Lx : ルクス)	環境	1日動かす分の充電時間	停止から安定した運針のための充電時間	フル充電時間
700	屋内照明	約4時間	約60時間	—
3000	蛍光灯(30W)の下20cm	約40分	約8時間	約130時間
10000	曇天	約12分	約3時間	約40時間
100000	晴天	約2分	約18分	約11時間

<R305-R306-R307-R503シリーズの場合>

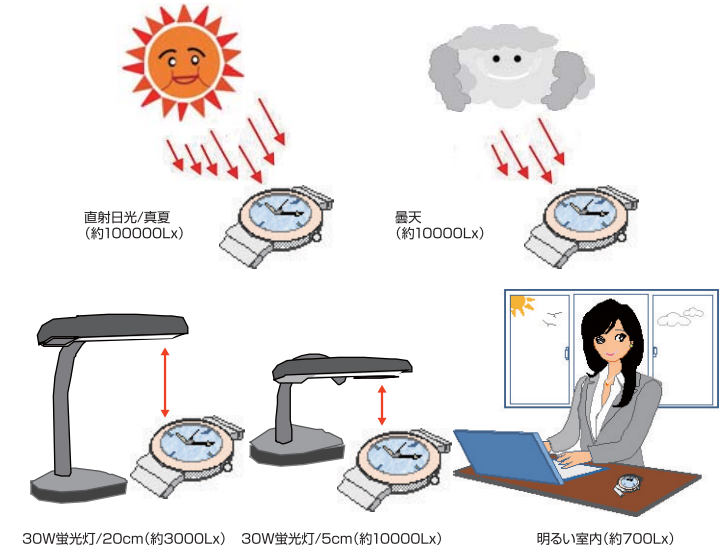
照度 (Lx : ルクス)	環境	1日動かす分の充電時間	停止から安定した運針のための充電時間	フル充電時間
700	屋内照明	約70分	約25時間	—
3000	蛍光灯(30W)の下20cm	約20分	約8時間	約60時間
10000	曇天	約6分	約2時間	約20時間
100000	晴天	約2分	約24分	約6時間

<R501-R502シリーズの場合>

照度 (Lx : ルクス)	環境	1日動かす分の充電時間	停止から安定した運針のための充電時間	フル充電時間
700	屋内照明	約115分	約45時間	—
3000	蛍光灯(30W)の下20cm	約28分	約10時間	約85時間
10000	曇天	約8分	約3時間	約25時間
100000	晴天	約2分	約25分	約4時間

フル充電………時計が停止している状態から最大に充電されるまでの時間。
1日分の充電時間……時計を1秒運針で1日動かすのに必要な時間。

⚠️ アドバイス
ソーラーチャージウォッチを充電するには、十分明るい環境が必要です。光線強度目安として、下記の環境を参照ください。



防水性能について

これらの時計は日常生活防水(3気圧)、日常生活強化防水(5気圧)です。洗顔や軽い降雨などの一時的にかかる水溜りには耐えられますが、水道の蛇口からの水を直接当てたり、水泳やダイビングなどのご使用は避けてください。時計内部には多少の湿気がありますので、外気が時計内部より低い温度の時は、ガラスの内側がくもることがあります。一時的なくもりは支障ありませんが、長時間くもりが消えない場合はそのまま放置せず、販売店または弊社サービスセンターへご相談ください。付着した水滴は、速やかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。3気圧(5気圧)を超えた水圧による浸水は、保証期間内の場合でも有償修理となります。